

看護学部 看護学科							
氏名	飯塚 麻紀	職名	准教授	専攻分野	看護学	学位名	博士 (看護科学)
主要業績 (著書・研究論文併せて5点以内)							
<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「脳卒中術後に意識障害を残す患者の家族へのケアに対する看護師の認識」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第1号、2018年12月 (共著)</li> <li>2. 「脳神経疾患患者の家族が患者の病気に関して抱く不確かさの関連要因」筑波大学大学院博士後期課程学位論文、2017年3月 (単著)</li> <li>3. 「くも膜下出血により意識障害を残した家族とともに生きる家族の体験」『日本家族看護学会誌』第22巻2号、2017年2月 (単著)</li> <li>4. 「日本版 Managing Uncertainty in Illness-Family Member Form (病気に関する不確かさ尺度-家族用) の信頼性および妥当性の検討」『日本看護科学学会誌』第36巻、2014年8月 (共著)</li> </ol>							
最近5年間の業績 (2018年度～2022年度)							
<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「医療の臨床実践にけるノンテクニカルスキル教育に関する文献検討」『常盤看護学研究雑誌』第5巻、2023年3月 (共著)</li> <li>2. 「看護学実習におけるeテキスト活用の効果」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第4号、2022年3月 (共著)</li> <li>3. 「急性期脳卒中患者の家族を対象とした研究の現状と家族を捉える視点」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第3号、2021年3月 (共著)</li> <li>4. 「遠隔授業での看護過程演習グループワークの取り組み」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第3号、2020年3月 (共著)</li> <li>5. 「看護学部2年生を対象としたBLS教育一科目外教育での試み―」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第2号、2019年12月 (共著)</li> <li>6. 「脳卒中術後に意識障害を残す患者の家族へのケアに対する看護師の認識」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第1号、2018年12月 (共著)</li> <li>7. 「成人看護学技術演習の現状に関する文献調査」『駒沢女子大学研究紀要 (人間健康学部・看護学部)』第1号、2018年12月 (共著)</li> <li>8. “Nontechnical Skills Training and Patient Safety in Undergraduate Nursing Education: A Systematic Review” Teaching and Learning in Nursing, 13, 2018 (共著)</li> </ol> <p>【学会発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「脳卒中患者の家族が信頼を抱く看護師の関わり」、第42回日本看護科学学会学術集会、2022年12月、広島 (共同)</li> <li>2. 「急性期脳卒中患者の家族を対象とした研究の現状と課題」、第39回日本看護科学学会学術集会、2019年11・12月、金沢 (共同)</li> </ol>							

3. 「看護基礎教育における患者教育に関する教科書の内容」、第 39 回日本看護科学学会学術集会、2019 年 11・12 月、金沢（共同）
4. “What Families of Patients who Survived acute Phase of Stroke Think about Nurses” , 22<sup>nd</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (EAFONS), January 2019, Singapore（共同）
5. 「急性期を脱した脳卒中患者の家族が抱く不確かさの内容」、第 38 回日本看護科学学会学術集会、2018 年 12 月、愛媛（共同）

**【社会活動】**

- ・ 2017～2018 年：NTT 東日本伊豆病院看護部研究指導

**【その他】**

- ・ 2018 年～2019 年：順天堂大学保健看護学部非常勤講師